



RI 会長テーマ

2022～2023 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 古内 一ニ
副会長 山口 徹
幹 事 今野 義也



= 会長指針 =

お互いを理解しあおう

．．． 例会記録 ．．．

7月第1週例会 2022年 7月 7日 (木)

ソング : 君が代・四つのテスト ボックス : 24,000円 (報告者 新沼達央会員)
本日出席率 : 62.86% 前回修正後86.11% (メークアップ 2名) (報告者 新沼福三会員)



志田前会長から古内会長へ 三田地前幹事から今野幹事へ 会長・幹事バッジの引継ぎ
古内丸 出航です!!

★ 会長の時間 : 古内一ニ



今日が会長の時間第一回目なので、何を話そうか考まして、ロータリーの始まりをヒントに近江商人について話をすることにしました。皆さんがご存知のとおり、シカゴで弁護士として働いていたポールハリスとその仲間たちが、世間の商業治安の悪さをなんとかしようと考えたのがロータリーの起源と認識していますが、日本の商売のやり方、商道德の基本を作った人たちは数多くいますが、その中に近江商人の存在があると思います。大阪商人、伊勢商人と日本の三大商人とされていますが、パナソニックの創業者の松下幸之助さんも

その考え方に大きく影響を受けております。そこで近江商人について簡単に話したいと思います。
まず、近江商人と言えば昔から商いの達人と言われてきました。近江の物産を背負って全国を行脚し、売り切って、帰るときには逆にその地の物産を買い込んで売りながら地元に戻ってくる。と言うやり方で、行きも帰りも無駄にしない、時間を無駄にしない。いわゆる「のこぎり商法」で成功したといわれています。また生活信条としては「始末して、気張る」と言う言葉があります。本来「始末」とは締めくくりことを指しますが、近江商人の使う言葉の意味は、ものを無駄にしない儉約を強調したもので、紙一枚にいたるまで、無駄にせず、細やかな日常用品にいたっても最後まで大切に使い切る。これが近江商人の言う「始末」です。また「きばる」と言う言葉は、滋賀県では今でも日常的に使われていまして、道端での挨拶が「お気張りやす」であり働くことへの敬意を表わしています。「朝は星を戴いて出かけ、夕べは星影を踏んで帰る」という商いの原点がこの言葉に表れています。そしてもっとも有名なのが、皆様もご存知だとも思います「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」の理念に基づいた商売とされています。この精神を文章化したのは中村治兵衛宗岸と言う方で、このかたは妻と息子に先立たれ、70歳の時1754年の「今から270年前」に15歳の養子の宗次郎に書置きされたものが原型といわれていま

す。その内容の「他国行商の際に大事なことは、自分の商品は世間の役に立つという信念を持って、高利をむさぼらず、常に相手の立場に考慮をはらうことを心がけなければならない。」といものである。宗岸の長い体験から得られた「商いの心得」とし、幼い息子に是非伝えておきたいという熱い思いが感じられます。この精神はまさにポールハリスさんが仲間と目指した理想の商道德の世界ではなかったのではないのでしょうか。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ・ 7月のロータリーレート 1ドル136円との連絡が届いています。
- ・ 青少年交換プログラム長期・短期派遣性の募集要項が届いています。
岩手・宮城の各高校へも郵送済み
長期：今年度中に派遣生を決定一年の研修後次年度に約一年間派遣
募集人員 2～3名 派遣先はロータリーが決定
短期：2023年3月中旬の14日間アメリカ合衆国オクラホマ州へ派遣
募集人員 5～6名
締め切：2022年9月26日 いずれもRCを通じて申請書類を入手し申し込み
選考試験： 10月23日
詳細はクラブ事務局にあり 国際奉仕委員長・会長・幹事にはPCメールで送付済み
- ・ 2022-23年度の月信はオンライン配信となります。
G事務所からクラブ事務局へメール配信 その後各会員へ転送MDのない会員へはFAX送信したいと思います。

2 ロータリー文庫運営委員会より

ロータリー文庫HPリンク時のユーザー名とパスワードが届いています。
他文書/HP等への記載は不可となっておりますので閲覧希望者は、事務局までご連絡下さい。

3 昨日 FAX 送信しておりますが

気仙沼南RCより納涼サンセットクルージングへのご案内が届いています。
日時 7月24日(日) 16時～ 15時45分集合
参加ご希望の方は、11日までに事務局宛お申し込みください。

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 藤原太伸 R財団小委員長



本年度R財団小委員長を務めます藤原です。米山小委員長の金会員と話し合いの結果、財団・米山への寄付に関し、なかなかタイミングが掴めないという方々の為と、多くの方に寄付をお願いしたいとの主旨から、ニコニコBOXの隣で寄付金のご協力をお願いすることとしました。
コツコツと寄付頂くことで、寄付に対する負担感をなくし、寄付者・寄付金を増やしたいと思いますのでご協力お願いいたします。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆
会長・新役員挨拶

★ 古内一二会長



活動計画書のなかにも書いてありますが、今年のテーマは「お互いを理解し合おう」にしました。私自身大船渡西ロータリーに入会して10年目になりますが、いまだに皆様の出身地も分からない方がたくさんいます。

そして会員の減少、これもここ数年の課題だと思います。私は、ロータリーの重要な目的に「職業奉仕」があると思います。まず自分の生業としての仕事で社会に貢献したうえで、ロータリー活動があると思っております。

具体的には、まずは会員卓話を増やし、限られた時間のなかでお互いの考え方、趣味、趣向を知り、個人の魅力を理解し合うこと。そして、その延長に社会に

対しての自分の仕事の立ち位置があると思います。此のことが、如いてはロータリーの魅力につながり、入会希望の一任につながると思います。

私自身微力ではございますが、この一年私なりに尽力を尽くしたいと思いますので会員皆様方のご協力宜しく願います、

★ 山口 徹副会長



今年度、副会長を務めます山口徹です。6月の例会で挨拶しましたので、今回は担当であるクラブ強化部門のお話をさせていただきます。RI 会長の所信の中に DEI「多様性、公平さ、インクルージョン（受容という意味で、お互いを認め合いながら一体化を目指す）を最優先し、女性会員や40歳未満の会員を増やすには、まずはリーダー陣がこれを実践しそのメンバー構成に反映させていく必要がある」とあります。これは女性会員や若い世代の会員の入会の促進をしましょうということです。

古内会長の今年度のテーマは「お互いを理解しあおう」これはまさにインクルージョンの事だとわたくしは理解しました。また古内会長は所信の中で、会員増強の必要性を訴えております。その表れとして会員増強の委員に水野小委員長をはじめ、齊藤会員、船砥会員、上野会員、藤原会員、高木会員、戸田会員と錚錚たる会員を選任しました。またロータリークラブ全体でも会員増強の必要性が重視されております。クラブの発展には会員増強は欠かせない事を会員全体で共有し、クラブ全体で会員拡大に取り組む必要があります。新入会員の目標は2名以上としましたが、前 RI 会長の「each one bring one」各ロータリアンが新入会員一人を入会させる気持ちで取り組みましょう。会員皆様のご協力よろしく願います。

最後に地区協議会・研修で共感した標語を紹介します。

- ・会員増強・維持のためにも、まずは『現会員で楽しくロータリー活動』！
- ・『魅力あるクラブづくり』があってこそ会員増強・維持に繋がる！

★ 今野義也幹事



本年度幹事という大役を務めることになるにあたりのご挨拶は前回お話した通りでございますが、会の運営を司る幹事としては、まずは会員皆様の状況を把握するということが大事かと考えますので、日々の情報把握を意識していきたいと思っております。コロナ渦でなかなか活動できないでいた昨年までであります。今年の予定としては、今のところ世の中の的にも RC 的にもコロナ前の仕様に一気に近づく一年になるのではないかと見込んでおります。

話は変わりますが、先日、まるしちで行われた今年度ガバナー公式訪問についての3クラブ打ち合わせにて、各クラブの会長幹事の皆様とお顔合わせをいたしました。大船渡クラブは刈谷会長・鈴木幹事、高田クラブは新沼会長・佐々木幹事ですが、両クラブ幹事であります佐々木康樹君と鈴木英里さんは私の JC や KRF 等でお付き合いしてきたかつての同志であり非常に近い人物であり、他クラブでもそういった世代がそういうポジションについているのだと刺激をうけた次第であります。

改めまして一年間よろしくお願いいたします。

★ 鈴木信男会計



今年度も会計を担当することとなりました鈴木です。

一年間よろしくお願いいたします。

一般会計予算を見ていただければわかるとおもいますが、R I 関係等固定費で事業資金がかなり厳しい状況にあります。

活動資金の確保のために、会員の皆様の例会出席の向上とニコニコボックスへのご協力、さらには財団の寄付についてもご協力ください。

例会後の清掃作業



育みの像

藤原会員あとから伊藤言会員参加



50周年記念碑

鈴木会員と松田会員

